

令和7年度 学校要覧



国立大学法人 千葉大学教育学部附属特別支援学校

〒263-0001 千葉市稲毛区長沼原町 312 番地

TEL 043(258)1111

FAX 043(258)9303

e-mail: fuyou@ml.chiba-u.jp

<http://yougo.e.chiba-u.jp>

千葉大学教育学部附属特別支援学校校歌

三 越 左 千 夫 作 詞

山 崎 八 郎 作 曲

♩ = 100~104

ふ た ぼ の め か ら き は の び て そ
し た ほ う へ え だ を し げ ら せ て か
こ ず え は た か く そ ら を さ し か

ら か ら や さ し い ひ の ひ か り
が や く あ お ぼ に う た う か ぜ
お り も ゆ た か に ひ た く は な

そ う だ そ う だ み ん な で み ん な で た く の し く ま な び
そ う だ そ う だ み ん な で み ん な で し ゃ り い こ と か も
そ う だ そ う だ み ん な で み ん な で し ゃ り い こ と か も

す く す ー く ー と の び る お お き な
の り こ ー え ー て い っ り の お お き な
ね を は ー っ ー て い っ り の お お き な

き に な ろ う
き に な ろ う
き に な ろ う

校 歌

三越左千夫 作詞

双葉の芽から 木はのびて
空からやさしい 陽の光
そうだ そうだ
みんな で みんなで
楽しく学び すくすくと
のびる大きな 木になろう
四方へ枝を 茂らせて
輝く青葉に 歌う風
そうだ そうだ
みんな で みんなで
苦しいことも 乗り越えて
鳥の集まる 木になろう
こずえは高く 空をさし
薫りもゆたかに 開く花
そうだ そうだ
みんな で みんなで
しっかりと深く 根をはって
何時か実のなる 木になろう

目 次

1. 沿革	3	
2. 本校の役割	6	
3. 教育目標	6	
4. 本校の特色	6	
5. 児童生徒の概要	6	
6. 教育実習年間計画	7	
7. 主な行事予定	7	
8. 小学部の生活	8	
(1) 学級編制と児童数	(3) 一日の生活の流れ	
(2) 週日課表	(4) 一年間の学校生活	
9. 中学部の生活	11	
(1) 学級編制と生徒数	(4) 校内実習及び産業現場等における実習	
(2) 週日課表	(5) 一年間の学校生活	
(3) 一日の生活の流れ		
10. 高等部の生活	15	
(1) 学級編制と生徒数	(4) 学級活動等	
(2) 週日課表	(5) 産業現場等における実習	
(3) 一日の生活の流れ	(6) 一年間の学校生活	
11. 進路指導・移行支援年間計画	19	
12. 卒業・修了生の進路	20	
(1) 卒業・修了時の進路	(2) 就職後の動向	
13. 卒業生への対応	21	
14. 児童生徒の入学募集等	21	
(1) 募集人員	(4) 入学者選考	(7) 体験入学
(2) 応募資格	(5) 入学・教育相談	
(3) 募集時期	(6) 学校見学会	
15. 学校運営組織	22	
(1) 教職員等	(2) 校務分担	
16. 学校周辺案内図	24	
千葉大学教育学部附属特別支援学校 校舎配置図	25	

1. 沿革

昭和 40 年 4 月 1 日、附属小学校に特殊学級（知的障害）の開設が認可。学級開設準備を附属第一小学校（千葉市市場町 26 番地、現在千葉県立中央図書館所在地）において進める。同年 10 月 15 日、小学校下学年学級（児童数 3、教官 1）の開級式及び入学式を挙行。翌 41 年度、小学校上学年学級が増設され、特殊学級校舎落成。42 年度には、附属中学校特殊学級の開設許可。5 月に中学校特殊学級校舎落成、同一敷地内に小・中学校特殊学級校舎が設置。43 年度、44 年度に中学校特殊学級各 1 学級が増設。45 年度に小学校・中学校学級が増設認可。小学校 3 学級、中学校 3 学級の計 6 学級となった。47 年度、学級数 6、児童生徒数 61 名、教官数 8 名、職員数 1 名。この年、附属養護学校設立予算が認められ、翌 48 年度に、これまでの小・中学校特殊学級が養護学校として独立。平成 19 年 4 月 1 日より、附属特別支援学校に校名を変更。現在に至っている。

昭和 48 年 4 月 1 日	千葉大学教育学部附属養護学校開校 初代校長 宮本茂雄教授就任 学級数 6、教官数 12、職員数 3、児童生徒数 59 研究テーマ「教育課程の検討と再編成」 —生活単元学習の計画とその指導について—	昭和 55 年 4 月 1 日	学級数 9、教官数 21、職員数 4、非常勤講師 3、児童生徒数 70 研究テーマ 前年度より継続
5 月 22 日	開校式挙行	5 月 17 日	新校舎用地取得 (18,996 m ²)
昭和 49 年 4 月 1 日	高等部開設認可（学年進行 1 年目） 学級数 7、教官数 15、職員数 3、非常勤講師 1、児童生徒 63 研究テーマ「教育課程の検討と再編成」 —小学部「子ども会単元による表現能力の指導」— —中・高等部「のぞましい作業態度をのばすための指導計画」—	昭和 56 年 4 月 1 日	学級数 9、教官数 22、職員数 4、非常勤講師 3、児童生徒数 69 研究テーマ「生活単元学習再考」 —子どもたちの生き生きとした姿をみつめて—
昭和 50 年 4 月 1 日	高等部（学年進行 2 年目） 学級数 8、教官数 16、職員数 4、非常勤講師 1、児童生徒数 64 研究テーマ 小学部「日常生活指導の指導課程の編成」 —中学部「体力を高めるための指導計画」— —高等部「職場適応を高めるための指導」—	9 月 30 日	新校舎建設着工
4 月 11 日	高等部作業棟落成式典挙行	11 月 10 日	「実践生活単元学習」（学習研究社刊行）
10 月 15 日	特殊学級開級十周年記念式典挙行（記念誌発行、記念植樹）	昭和 57 年 4 月 1 日	学級数 9、教官数 23、職員数 4、非常勤講師 4、児童生徒数 69 研究テーマ「新しい学校生活づくり」 —教育課程編成を学校生活づくりと捉えて—
昭和 51 年 4 月 1 日	高等部（学年進行 3 年目） 学級数 9、教官数 20、職員数 4、非常勤講師 1、児童生徒数 67 研究テーマ 前年度より継続	6 月 29 日	新校舎竣工
昭和 52 年 4 月 1 日	学級数 9、教官数 21、職員数 4、非常勤講師 1、児童生徒数 64 研究テーマ「重度化・多様化に対応する生活単元学習の実践的研究」	7 月 26 日	新校舎へ移転完了
昭和 53 年 3 月 31 日	宮本茂雄校長任期満了（二期 5 年）	9 月 1 日	職員数 8（栄養士、技能補佐員含）
4 月 1 日	二代校長 小出 進教授就任 学級数 9、教官数 21、職員数 4、非常勤講師 1、児童生徒数 67 研究テーマ「生活単元学習再考」 —子どもとともにつくる生活単元— 研究紀要の他に、この年度より実践記録「実践メモ」を発行	9 月 16 日	校歌制定発表会挙行（作詞 三越左千夫、作曲 山崎八郎） 校旗制定
昭和 54 年 4 月 1 日	学級数 9、教官数 21、職員数 4、非常勤講師 2、児童生徒数 70 研究テーマ「生活単元学習再考」 —どの子も生き生きと生活すること	9 月 22 日	新校舎落成記念・創立十周年記念式典挙行
		昭和 58 年 3 月 31 日	小出 進校長任期満了（二期 5 年） 運動場 整備工事竣工（着工昭和 57 年 10 月）
		4 月 1 日	三代校長 白井哲之教授就任 学級数 9、教官数 24、職員数 8、非常勤講師 2、児童生徒数 71 研究テーマ 前年度より継続
		5 月 22 日	運動場開き挙行（小運動会）
		昭和 59 年 2 月 26 日	プール工事竣工（着工昭和 58 年 10 月）
		4 月 1 日	学級数 9、教官数 25、職員数 8、非常勤講師 2、児童生徒数 73 研究テーマ 前年度より継続
		5 月 31 日	プール竣工記念式典挙行
		昭和 60 年 4 月 1 日	学級数 9、教官数 25、職員数 8、非常勤講師 2、児童生徒数 69、 研究テーマ 前年度より継続
		昭和 61 年 4 月 1 日	学級数 9、教官数 26、職員数 8、非常勤講師 2、児童生徒数 71 研究テーマ 前年度より継続

昭和 62 年 2 月 25 日	「実践教育課程」(学習研究社)刊行		
4 月 1 日	学級数 9、教官数 26、職員数 8、非常勤講師 2、児童生徒数 70 研究テーマ「学校生活の集団化と個別化」ーよりきめ細かな学校生活づくりを意図してー	平成 12 年 4 月 1 日	研究テーマ 前年度より継続 学級数 9、教官数 28、職員数 8、非常勤講師 1、児童生徒数 72 研究テーマ 前年度より継続
昭和 63 年 3 月 31 日	白井哲之校長任期満了(二期 5 年)	平成 13 年 3 月 31 日	下村康夫校長任期満了(二期 5 年)
4 月 1 日	四代校長 小出 進教授就任 学級数 9、教官数 26、職員数 8、非常勤講師 1、児童生徒数 68 研究テーマ 前年度より継続	4 月 1 日	七代校長 太田俊己教授就任 学級数 9、教官数 29、職員数 7、非常勤講師 1、児童生徒数 76 研究テーマ 前年度より継続
平成元年 4 月 1 日	学級数 9、教官数 27、職員数 8、非常勤講師 1、児童生徒数 68 研究テーマ 前年度より継続	平成 14 年 2 月 22 日	「実践生活中心教育」(学習研究社)刊行「生活中心教育の原理」(K&H 社)刊行
平成 2 年 4 月 1 日	学級数 9、教官数 27、職員数 8、非常勤講師 1、児童生徒数 71 研究テーマ 前年度より継続	4 月 1 日	学級数 9、教官数 29、職員数 7、非常勤講師 1、児童生徒数 75 研究テーマ「子どものための、子どもによる、子どもの学校生活」ー子ども主体を支える状況づくりに努めてー
平成 3 年 4 月 1 日	学級数 9、教官数 27、職員数 8、非常勤講師 1、児童生徒数 71 研究テーマ 前年度より継続	5 月 24 日	創立三十周年記念式典挙行(記念誌発行)
平成 4 年 2 月 28 日	「実践作業学習」(学習研究社)刊行 学級数 9、教官数 27、職員数 8、非常勤講師 1、児童生徒数 71 研究テーマ「生活のための、生活による、生活の教育」ー子ども主体の生活を大切にしていー	7 月 17 日	創立三十周年全校記念旅行(清里方面)
5 月 22 日	創立二十周年記念式典挙行(記念誌発行)「実践遊びの指導」(学習研究社)刊行、創立二十周年を記念して、「生活のための生活による、生活の教育」(全 4 巻)を刊行	平成 15 年 2 月 28 日	「ものづくり 学校生活づくり」(K&H 社)刊行
平成 5 年 3 月 31 日	小出 進校長任期満了(二期 5 年)	4 月 1 日	学級数 9、教官数 29、職員数 7、非常勤講師 2、児童生徒数 78 研究テーマ 前年度より継続
4 月 1 日	五代校長 久米 公教授就任 学級数 9、教官数 28、職員数 8、非常勤講師 1、児童生徒数 69	平成 16 年 2 月 27 日	「支援案の書き方 個別の支援計画」(K&H 社)刊行
平成 6 年 4 月 1 日	学級数 9、教官数 28、職員数 7、非常勤講師 1、児童生徒数 69 研究テーマ 前年度より継続	4 月 1 日	学級数 9、教官数 29、職員数 7、非常勤講師 4、児童生徒数 71 研究テーマ 前年度より継続
平成 7 年 3 月 7 日	「子ども主体の生活単元学習」(学習研究社)刊行	平成 17 年 2 月 25 日	「授業が変わる・単元が変わる」(K&H 社)刊行
4 月 1 日	学級数 9、教官数 28、職員数 7、非常勤講師 2、児童生徒数 72 研究テーマ 前年度より継続	4 月 1 日	学級数 9、校長 1、教諭 28、職員数 7、非常勤講師 3、児童生徒数 70 研究テーマ 「一人ひとりの思いを大切にしたい豊かな学校生活づくり」ー子ども主体の状況づくりを深めてー
平成 8 年 3 月 31 日	久米 公校長任期満了(一期 3 年)	平成 18 年 2 月 24 日	「ニーズに取り組む 個への教育支援づくり」(K&H 社)刊行
4 月 1 日	六代校長 下村康夫教授就任 学級数 9、教官数 28、職員数 7、非常勤講師 2、児童生徒数 76 研究テーマ 前年度より継続	3 月 31 日	太田俊己校長任期満了(二期 5 年)
平成 9 年 4 月 1 日	学級数 9、教官数 28、職員数 8、非常勤講師 1、児童生徒数 74 研究テーマ「生活のための、生活による、生活の教育Ⅱ」ー一人ひとりの主体的活動を願う支援の最適化ー	4 月 1 日	八代校長 石井克枝教授就任 学級数 9、校長 1、教諭 29、職員数 7、非常勤講師 3、児童生徒数 72 研究テーマ 前年度より継続
平成 10 年 4 月 1 日	学級数 9、教官数 28、職員数 8、非常勤講師 1、児童生徒数 77 研究テーマ 前年度より継続	平成 19 年 2 月 23 日	「知的障害教育・基礎知識 Q&A」(K&H 社)刊行
平成 11 年 4 月 1 日	学級数 9、教官数 28、職員数 8、非常勤講師 1、児童生徒数 76	4 月 1 日	千葉大学教育学部附属特別支援学校に校名変更 学級数 9、校長 1、教諭 28、職員数 7、非常勤講師 2、児童生徒数 69 研究テーマ 前年度より継続
		平成 20 年 2 月 22 日	「『できる状況づくり』Q&A」(K&H 社)刊行
		4 月 1 日	学級数 9、校長 1、教諭 28、職員数 7、非常勤講師 3、児童生徒数 70

10月29日	研究テーマ 前年度より継続 全日本特別支援教育連盟「研究奨励賞」受賞（京都市大会）	平成31年4月1日	研究テーマ 前年度より継続 学級数9、校長1、副校長1、教諭27、職員数8、非常勤講師2、児童生徒数53
平成21年2月20日	「生活単元学習・作業学習の進め方Q&A」（K&H社）刊行		研究テーマ「深い学びを支える知的障害特別支援学校の授業づくり」
4月1日	学級数9、校長1、教諭27、職員数7、非常勤講師3、児童生徒数67		ー各教科等を合わせた指導を中心にー
平成22年2月19日	研究テーマ 前年度より継続 「どの子も主役の学校生活づくり」（K&H社）刊行	令和2年4月1日	学級数9、校長1、副校長1、教諭26、職員数8、非常勤講師2、児童生徒数53
4月1日	学級数9、校長1、教諭29、職員数7、非常勤講師2、児童生徒73		研究テーマ 前年度より継続 大規模改修工事 終了
平成23年2月18日	研究テーマ「共に豊かに生きる学校生活をめざしてー子どもの思いに寄り添い、子ども主体を支えるー」 「続ものづくり 学校生活づくり」（K&H社）刊行	令和3年4月1日	学級数9、校長1、副校長1、教諭26、職員数7、非常勤講師3、児童生徒数54
3月31日	石井克枝校長任期満了（二期5年）	令和4年4月1日	研究テーマ 前年度より継続 学級数9、校長1、副校長1、教諭26、職員数8、非常勤講師5、児童生徒数60
4月1日	九代校長 太田正己教授就任 学級数9、校長1、教諭28、職員数7、非常勤講師2、児童生徒数71		研究テーマ「子どもが自ら学びに向かう各教科等を合わせた指導の授業づくり」ーAARサイクルを生かした実践ー
平成24年4月1日	研究テーマ 前年度より継続 学級数9、校長1、副校長1、教諭28、職員数6、非常勤講師2、児童生徒数72	令和5年3月31日	細川かおり校長任期満了（二期5年）
7月18日	研究テーマ 前年度より継続 創立四十周年記念式典挙行（記念誌発行）		「ワクワクしながら子どもが育つ千葉大学教育学部附属特別支援学校「遊びの指導」とは（ジース教育新社）刊行
平成25年3月31日	太田正己校長退任	4月1日	十三代校長 辻耕治教授就任
4月1日	十代校長 北島善夫教授就任 学級数9、校長1、副校長1、教諭26、職員数7、非常勤講師2、児童生徒数68		学級数9、校長1、副校長1、教諭26、実習助手1、職員数10、非常勤講師5、児童生徒数61
平成26年4月1日	研究テーマ 前年度より継続 学級数9、校長1、副校長1、教諭26、職員数7、非常勤講師2、児童生徒数64	令和6年4月1日	研究テーマ 前年度より継続 学級数9、校長1、副校長1、教諭26、実習助手1、職員数9、非常勤講師1、児童生徒数61
平成27年4月1日	研究テーマ 前年度より継続 学級数9、校長1、副校長1、教諭25、職員数6、非常勤講師3、児童生徒数58		研究テーマ 「令和の教育的ニーズを踏まえた各教科等を合わせた指導」ー授業づくりを通してー
	研究テーマ 今日的な課題に答える 「領域・教科を合わせた指導」の授業づくり	令和7年4月1日	正門改修工事 着工
	学級数9、校長1、副校長1、教諭27、職員数8、非常勤講師2、児童生徒数53		学級数9、校長1、副校長1、教諭26、実習助手1、職員数9、非常勤講師8、児童生徒数58
平成28年4月1日	学級数9、校長1、副校長1、教諭25 職員数7、非常勤講師3、児童生徒数54		研究テーマ 前年度より継続 正門改修工事終了
平成29年4月1日	研究テーマ 前年度より継続 学級数9、校長1、副校長1、教諭27 職員数7、非常勤講師2、児童生徒数54		
	研究テーマ 「確かな学びを支える領域・教科を合わせた指導の授業づくり」		
平成30年3月31日	北島善夫校長任期満了（二期5年）		
4月1日	十一代校長 細川かおり教授就任 大規模改修工事 着工		

2. 本校の役割

本校は、知的発達に障害のある児童生徒を対象に、常によりよい教育実践をめざすことに加え、国立大学法人千葉大学教育学部の目的に沿い、附属学校として次の役割を追求する。

- (1) 教育学部の教員及び学生とともに実践的研究を行う。
- (2) 教育の実践的研究を推進し、その成果の公開・発信に努める。
- (3) 教育実習を充実し、有為な教員の養成を推進する。
- (4) 研究・研修・交流等を通して、教員の資質向上と人材育成に努める。
- (5) 県内や地域における特別支援教育の推進に努める。

3. 教育目標

児童生徒一人ひとりが、仲間とともに活動する中で、個性を存分に発揮し、目当てと見通しをもちながら、自立的・主体的に生活できるようになる。

4. 本校の特色

児童生徒一人ひとりが力と個性を存分に発揮し、心豊かに育つよう学校生活の充実に努める。児童生徒の自立的・主体的な生活の実現をめざし、日々の生活を整える。

- (1) 小学部では生活単元学習、遊びの指導、日常生活の指導を、中学部では生活単元学習と作業学習を、高等部では作業学習をそれぞれ教育課程の中心に据えて学校生活を整え、児童生徒の充実した学校生活の実現に努めている。
- (2) 児童生徒が、一定期間、一定のテーマをもって、できる限り自分自身の力で主体的に生活できるようにしている。「運動会」「ふよう祭」などの、学校全体で取り組む生活単元学習や学校行事は、児童生徒会の役員会が中心となって企画・運営している。児童生徒会の各委員会や学級が、それらの準備等の活動に取り組み、児童生徒が中心となって学校生活を進めている。
- (3) 卒業後、働く活動を中心とした社会生活に確実につながるよう、働く活動を学校生活に大きく位置づけるとともに、社会とかかわる生活を大切にしている。教育活動を地域の社会にも求め、中学部と高等部では、企業や施設などにおける現場実習を積極的に実施している。

5. 児童生徒の概要

本校は、小学部、中学部及び高等部の3部からなる。小学部は、低学年、中学年及び高学年の3学級からなり、中学部及び高等部は、学年別に3学級で編制されている。1学級の定員は、小学部及び中学部が各々6名、高等部が8名である。

(1) 学級編制

	部	小学部							中学部				高等部				合計
		低		中		高		計	1	2	3	計	1	2	3	計	
性別	学年	1	2	3	4	5	6										
男		2	3	2	3	1	3	14	6	4	5	15	6	4	6	16	45
女		1	0	1	0	1	0	3	0	2	1	3	2	3	2	7	13
計		3	3	3	3	2	3	17	6	6	6	18	8	7	8	23	58

(2) 居住地

	千葉	船橋	習志野	四街道	佐倉	市川	八千代	木更津	合計
小学部	11	1	1	4	0	0	0	0	17
中学部	6	2	1	4	2	1	2	0	18
高等部	10	1	2	4	3	0	2	1	23
計	27	4	4	12	5	1	4	1	58

(3) 通学時の交通機関

	部	小学部							中学部				高等部				合計
		低		中		高		計	1	2	3	計	1	2	3	計	
交通機関	学年	1	2	3	4	5	6										
スクールバス		1	1	2	0	0	1	5	0	1	2	3	0	0	0	0	8
保護者送迎		2	2	1	3	2	2	12	6	5	3	14	6	5	5	16	42
公共交通機関		0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2	2	3	7	8
計		3	3	3	3	2	3	17	6	6	6	18	8	7	8	23	58

6. 教育実習年間計画

注 年度当初の予定

年次・専攻	班 別	人 数	実 習 期 間
4 年 次 副 専 攻 (コ ア 実 習)	1	13	5 月 12 日～5 月 23 日
	2	12	10 月 28 日～11 月 11 日
3 年 次 主 専 攻 コ ア 実 習 II	1	17	8 月 28 日～9 月 18 日
	2	16	11 月 12 日～12 月 9 日
2 年 次 主 専 攻 プ レ	1	12	1 月 13 日、1 月 14 日
	2	13	1 月 15 日、1 月 16 日
3 年 次 副 専 攻 プ レ		未定	1 月 8 日、1 月 9 日
2 年 次 主 専 攻 コ ア 実 習 I		26	2 月 9 日～2 月 16 日
4 年 次 副 専 攻 フォロースアップ実習		25	11 月 8 日
3 年 次 主 専 攻 フォロースアップ実習		33	小:12 月 18 日、中:1 月 21 日、高:2 月 20 日

7. 主な行事予定

注 年度当初の予定

小中高は、小・中・高の各部

月	行 事	月	行 事
4 月	- 前期始業式 - 入学式 - 小中高新入生歓迎会 - 誕生会（毎月） - 発育測定/体重測定（毎月） - 定期健康診断 - PTA 総会 - 避難訓練（年 5 回）	9 月	- 小「校外宿泊学習」（1 泊 2 日） - 中授業研究会 - 高スポーツ大会 - 中 1 学年校内実習 - 中 2・3 学年産業現場等における実習 - 高産業現場等における実習Ⅱ期
5 月	- 運動会 - 中 3 学年修学旅行（2 泊 3 日） - 高 1 学年校内実習 - 高 2・3 学年産業現場等における実習Ⅰ期	10 月	- 前期終業式 - 秋休み - 後期始業式 - 小授業研究会 - 高授業研究会
6 月	- 授業参観週間 - 入学募集要項公示 - 学校見学会Ⅰ期 - 中作業製品販売会「夏市」	11 月	「ふよう祭」（学校祭） - 小秋の遠足
7 月	- 小 5・6 学年修学旅行（2 泊 3 日）隔年 - 中「宿泊学習」（1 泊 2 日） - 引き渡し訓練 - 高作業製品販売会「キャンパス市」 - 夏季休業 - 同窓会 - 体験入学	12 月	- 中高駅伝大会 - 小音楽発表会 - 高 1 学年「宿泊学習」（1 泊 2 日） - 高 2 学年修学旅行（2 泊 3 日） - 冬季休業
8 月	- 夏休み作品展 - 学校見学会Ⅱ期	1 月	- 冬休み作品展 - 授業参観日 - 中作業製品販売会「冬市」
		2 月	- 第 53 回公開研究会 - 高ものづくり市
		3 月	- 児童生徒会役員選挙 - 小中高送別会 - 卒業式 - 修了式・離任式 - 春季休業

8. 小学部の生活

家庭との連携を図り、健康で充実した学校生活を通して、基本的な生活習慣を身につけ、自立的な生活の基盤を作ることができるよう、以下に重点を置く。

- ・自分のことを自分で行おうとする意欲と技術を養い、身辺自立を図る。
- ・目当てと見通しをもって、安心して学校生活を送ることができるようにする。
- ・仲間への興味関心を高め、人と関わる力や役割を担う力を育てる。
- ・健康な身体をつくり、豊かな心を養うことを通して、よりよく社会生活を送る基盤を培う。

(1) 学級編制と児童数

学級	学年	男	女	小計	合計
低学年	1年	2	1	3	6
	2年	3	0	3	
中学年	3年	2	1	3	6
	4年	3	0	3	
高学年	5年	1	1	2	5
	6年	3	0	3	
合 計		14	3	17	17

(2) 週日課表

《低・中学年学級》

	月	火	水	木	金
9:00	登 校				
9:30	着替え・係活動				
9:50	全校朝会 (月2回)	朝の会			
10:15		体育「おはよう広場」			
10:30	朝の会				
	生活単元学習／遊びの指導				
11:45	給食準備				
12:00	給食・昼休み				
13:00	自立活動/生活単元学習「チャレンジタイム」				
13:30	着替え・帰りの会				
14:00	下 校				

《高学年学級》

	月	火	水	木	金
9:00	登 校				
9:30	着替え・係活動				
9:50	全校朝会 (月2回)	朝の会			
10:15		体育「おはよう広場」			
10:30	朝の会				
	生活単元学習／遊びの指導				
11:45					
12:00	給食準備				
	給食・昼休み				
13:00	児童会 (月2回)	自立活動／生活単元学習「チャレンジタイム」			
13:30					
13:50		着替え			
14:00		帰りの会			
14:30					
15:00	着替え・帰りの会		下校		着替え・帰りの会
	下校				下校

(3) 一日の生活の流れ

① 登校・着替え・係活動・朝の会（9：00～9：50）

登校後、連絡帳などを所定の場所に置き、着替えを行う。着替えが終わったら、ゴミ捨てや教室の掃除、エプロンたたみ、健康観察カードの記入などの係活動を行う。学級ごとの朝の会では、出欠や天気の確認、サインや写真・絵カードなどで一日の活動への見通しをもてるようにし、期待感を高める。

② 全校朝会（月2回 月曜日 9：30～10：15）

児童生徒会役員の司会・進行により、「校長先生の話」「児童生徒会長の話」「その時期の生活に関連した児童生徒の活動のお知らせ」「ゲーム」などを行う。

③ 体育「おはよう広場」（火～金曜日 9：50～10：30 ※全校朝会の無い月曜日にも実施）

音楽に合わせたリトミック運動をした後、サーキットやボール運動、リレー、短距離走、長距離走など、期間を設けて、様々な運動を行う。

④ 生活単元学習／遊びの指導（月～金曜日 10：30～11：45）

「生活単元学習」は、時期ごとにテーマを決めて活動を進めていく。全校で取り組む単元と、学級や小学部全体で取り組む単元があり、次頁のように組んでいる。

「遊びの指導」は、年3回、体育館やグラウンドに「遊び場」を設定して、小学部全体で取り組む。一人ひとりの遊びの段階に合わせた遊具や場を設定し、主体的に遊びを展開でき、子ども同士の関わりが生じやすくなるように工夫している。

⑤ 給食・昼休み（11：45～13：00）

給食は、学級ごとに教室で食べる。食器や食缶を運び、台拭きや配膳などの準備を分担して行う。子どもに応じて、食事の量を調節したり、好き嫌いが少なくなるように配慮したり、スプーンやはしなどの使い方を支援したりする。

食後は、片付けをしてから歯を磨き、昼休みをとる。好きな本を読んだり、遊具で遊んだりするなど、自由に過ごす。

⑥ チャレンジタイム（低・中学年 月～金曜日 13：00～13：30 高学年 月・火・木・金 13：00～14：30 水 13：00～13：30）

身体の動きや手指の操作性、ことば・かずなど一人ひとりの課題に応じて学習内容を設定し、取り組んでいる。また、学級ごとにテーマを決めて活動したり、校外学習などの事前学習を行ったりすることもある。高学年は、教室の掃除やエプロンの洗濯などをする時間も設けている。

⑦ 着替え・帰りの会（低・中学年 月～金曜日 13：30～14：00 高学年 月・火・木・金 14：30～15：00 水 13：30～14：00）

着替えをして、連絡帳や着替えをバッグに入れ、帰りの会で今日の活動の振り返りや翌日の予定を確認する。

⑧ 児童生徒会（月2回 月曜日 高学年学級のみ 13：00～13：50）

役員会を中心に「図書・掲示」「美化」「元気100%」「リサイクル」の4つの委員会がある。中学部及び高等部の生徒と共に取り組む。

◎役員会	
・児童生徒会の企画・運営 ・全校朝会の運営・進行 ・選挙管理 ・学校行事の企画運営	○図書・掲示委員会（本の整理、掲示板や校内の掲示・装飾）
	○美化委員会（学校の掃除や環境整備などの美化活動）
	○「元気100%」委員会（朝の運動の進行、保健・給食目標の校内掲示など）
	○リサイクル委員会（エコキャップやアルミ缶の収集など）

*役員会は、会長1（高）、副会長2（中・高）、学部代表3（小・中・高）の計6名で構成される。

役員は、全校児童生徒の選挙により選出され、任期は1年である。

⑨ 道徳（教育活動全体を通じて各学習の中で取り組む）

自分自身に関すること、人との関わりに関すること、集団や社会との関わりに関すること、生命や自然との関わりに関することを個々の実態に応じてねらいをもって取り組む。

(4) 一年間の学校生活

注 年度当初の予定

月	学校生活のテーマ			行事等
	低学年学級	中学年学級	高学年学級	
4	4/10 4/11 4/14～4/25 生活単元学習（制作活動、新学期準備など） ※各学級で行う	学級 新入生歓迎会		前期始業式(4/8) 入学式(4/9) 新入生歓迎会(4/11) 面談週間(4/18～24)
5	4/28～5/20 5/21～6/6 生活単元学習（制作活動、調理、音楽活動など） ※各学級で行う	運動会 ※学校全体で行う		運動会(5/17) 授業参観週間 (6/11～6/13)
6	6/9～6/27	遊びの指導		
7	6/30～7/14 7/15 7/17～8/26	体育（水遊び・屋内体育） 学級 夏休み		授業終わりの会(7/16) 引き渡し訓練(7/16)
8	8/28～8/29 9/1～9/19 生活単元学習（制作活動、調理、音楽活動など） ※学部全体で行う	学級活動		授業はじめの会(8/27)
9	9/22～10/6 生活単元学習「ロマンの森に泊まろう！（仮）」 ※学部全体で行う			宿泊学習(10/2～3) 前期終業式(10/8)
10	10/9～10/14 10/16～10/31	秋休み 遊びの指導		後期始業式(10/15) 面談週間(10/20～24) ふよう祭(11/7,8)
11	11/4～11/11 生活単元学習（ふよう祭に向けて） ※学部全体で行う 11/12～11/14 秋の遠足単元（アンデルセン公園（仮））			秋の遠足(11/14)
12	11/21～12/19 生活単元学習「音楽発表会をしよう」 ※学部全体で行う 12/22 12/24～1/6 1/8～1/9	学級 冬休み 学級活動		小学部発表会(12/18) 授業終わりの会(12/23)
1	1/13～1/27 生活単元学習（制作活動、調理、音楽活動など） ※各学級で行う			授業はじめの会(1/7) 授業参観(1/17)
2	1/28～2/20 2/24～3/10 生活単元学習「お別れ会をしよう」	遊びの指導	「卒業制作・進級制作を作ろう」 ※「お別れ会」の練習も行う	公開研究会(2/13) 面談週間(2/20～27) 小学部お別れ会(3/10) 卒業式(3/11) 修了・離任式(3/24)
3	3/12～3/23 3/25～	学級活動（1年のまとめ、掃除など） ※各学級で行う 春休み		

※児童の興味・関心や教師のねらいなどによって各単元のテーマを決め、学習内容を設定しています。

9. 中学部の生活

健康で、日々充実した学校生活を過ごし、小学部、小学校段階で身に付けた力をさらに高め、より自立的に生活できるよう、以下の点に重点を置く。

- ・自分なりの目標をもち、考えや意見を伝えることで、学校生活の計画に主体的に参加したり、自身の力を最大限に発揮したりする経験を積み重ねることができるようにする。
- ・心身の健康を保持増進するために必要な習慣や態度を身に付けられるようにする。
- ・集団生活でのルールやマナーを守ること、役割を果たすことなどを通して、仲間との生活を楽しむための基礎的な力を身に付けられるようにする。
- ・卒業後や将来の社会生活を見据え、働くこと、より豊かに生活することを目指した主体的な進路選択・決定のための基礎的な力を身に付けられるようにする。
- ・家庭や関係諸機関との情報交換を丁寧に行い、協力関係を深め、共通理解を得られるようにする。

(1) 学級編成と生徒数

学年	男	女	計
1 年	6	0	6
2 年	4	2	6
3 年	5	1	6
合 計	15	3	18

(2) 週日課表

時間	月	火	水	木	金
9:00	登 校				
	着替え・朝の学習・朝の会				
9:30	全校 朝会	朝の運動			
10:15	生活単元学習／作業学習／発見タイム 総合的な学習の時間				
11:45	給食準備・給食・昼休み				
13:00	児童 生徒会 (隔週)	※1 チャレンジタイム (国語・数学/自立活動)	掃除	※1 チャレンジタイム (国語・数学/自立活動)	
13:50	学級 活動	※2 音楽 美術 保健体育	着替え 帰りの会	※2 音楽 美術 保健体育	
14:00			下校		
14:30	着替え・帰りの会			着替え・帰りの会	
	下校			下校	

※1 個別課題学習として実施。

※2 学年ごとやグループ別で実施。学習内容、活動内容は時期によって設定。

(3) 一日の生活の流れ

① 登校・日常生活の指導・朝の学習・朝の会【9:00～9:30】

登校後、連絡帳を所定の場所に提出する。その後、更衣や一日の生活に向けた準備をする。

朝の学習では、生徒の実態に応じた学習課題や、学級の係活動に取り組む。

朝の会は学級ごとに行う。

出欠や一日の活動の流れを確認し、見通しをもって生活や学習ができるようにする。

② 全校朝会（基本的に隔週月曜日実施）【9:30～10:15】

内容は、小学部の項と同じ（p9 参照）

③ 朝の運動（保健体育）【9:30～10:15】（※全校朝会のある月曜日は実施しない）

健康の保持・増進及び望ましい運動習慣を身に付けるためにラジオ体操やランニングなどを行い、気持ちの良い一日が始められるようにする。

ランニングは走る周数を決めるなどし、個々のペースで取り組む。高等部と合同で活動する。

④ 生活単元学習【10:15～11:45】

時期ごとに生活のテーマを設定し、活動に取り組む。学級ごとに取り組んだり、学部全体、全校で取り組んだりする。

⑤ 作業学習【10:15～11:45】

作業班は「あいぞめ班」「えんげい班」「やきもの班」の3班がある。

作業班の所属は学年を越えた縦割りで編成し、生徒の希望や課題、家庭からの要望、教師のねらいなどを総合的に考慮しながら決定する。「生活単元学習」とともに、中学部の生活の中心的な活動になっている。

あいぞめ班 本藍で、ハンカチやTシャツ、小物などを染めている。絞り染めや段染めなど、工夫をこらし、味わいのある製品を作っている。

えんげい班 時期や草花の種類に応じて播種による栽培や、苗を植えかえての栽培を行っている。草花を利用した加工製品作りにも取り組んでいる。

やきもの班 泥しょう鑄込み、たたら、機械ろくろによる成形、素焼き、釉がけ、本焼きなどの工程により、カップや皿、小鉢などを製作している。

⑥ 給食準備・給食・昼休み【12:00～13:00】

身支度や手洗いを行い、衛生面に気を付けながら、食器や食缶の運搬、台拭き、配膳などを当番の生徒と行う。基本的には、自分の食事を自席まで運ぶ、下膳をするなどは自分で行っている。食器の扱いなどを含む、食事のマナーも身に付けられるよう取り組んでいる。

⑦ 児童生徒会（月2回程度、月曜日）【13:00～13:50】

内容は小学部の項と同じ（p9 参照）。

⑧ チャレンジタイム（火曜日、木曜日、金曜日）【13:00～13:50】

主として、個別課題を中心とした学習に取り組む。生徒の実態や課題、ニーズ等に応じ、弁別課題や読み・書き・計算などの各教科の学習をしたり、手指の巧緻性を高める、認知・コミュニケーションの力を高めるための自立活動に取り組んだりする。

⑨ 学級活動（児童生徒会活動のある月曜日）【13:50～14:30】

学級での活動を中心に、望ましい人間関係を育てたり、集団の一員として活動し、自主的で実

践的な生活態度を育てたりする。主に、掃除などの身近な生活に関わる活動や学習の導入、まとめの活動に取り組む。

※⑩～⑫は、諸行事や時期に合わせ題材化して取り組む。

⑩ **音楽**（火曜日、木曜日、金曜日）【13:50～14:30】

合奏やダンス、身振りを交えた表現、合唱や鑑賞などに取り組む。

⑪ **美術**（火曜日、木曜日、金曜日）【13:50～14:30】

材料や用具を使い造形活動に取り組み、造形や作品の鑑賞などに活動に取り組む。

⑫ **保健体育**（火曜日、木曜日、金曜日）【13:50～14:30】

持久走、ボール運動やダンスなど、様々な運動に取り組み、運動に親しむ態度を身に付ける。また体の発育・発達、風邪の予防など健康についての学習、人との距離感についての学習などに取り組む。

⑬ **発見タイム**（時期に応じ不定期に実施）

千葉大学と連携し教職大学院所属の現職教師の授業を通じ、様々なテーマの学習に取り組む。

⑭ **総合的な学習の時間**

宿泊学習への取り組みを中心に、社会とつながりのある体験的な活動、交通ルール公共機関の利用、人との接し方など、社会のルールやマナーについて、個々やグループで考えたり、実際に取り組んだりする経験を通じた学習に取り組む。

⑮ **清掃**（水曜日）【13:00～13:30】

自分たちの教室の他、各学級に割り当てられた場所の清掃に取り組む。

⑯ **着替え・帰りの会**【月・火・木・金 14:30～15:00】【水 13:30～14:00】

登下校用の服装に着替える。帰りの会は一日の振り返りや明日の日程確認を各学級単位で行う。

⑰ **道徳**（教育活動全般をとおして取り組む）

よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うために、教育活動全般を通して、道徳的判断力や 心情、実践意欲と態度を身に付ける。自分自身に関すること、人との関わりに関すること、集団や社会との関わりに関すること、生命や自然との関わりに関することを個々の実態に応じてねらいをもって取り組む。

⑱ **特別活動**

各行事に関する集会及び当日の取り組みや、長期休業前後の集会など時期に応じた取り組みを行う。

(4) 校内実習及び産業現場等における実習

【時期】 9月下旬～10月上旬

1年生 全員が校内での実習に取り組む。

2・3年生 学年ごとに全員が同一事業所（企業）で実習する。

担任は事業所で一緒に仕事に取り組む。

実習への取り組みを通じ、余暇を含めた卒業後の生活、進路に関することの学習に取り組む。

(5) 一年間の学校生活

月	学 校 生 活 の テ ー マ				行事等
	生 活 単 元 学 習			作 業 学 習 (あいぞめ班・えんげい班・やきもの班)	
	1 年	2 年	3 年		
4	4/10～4/14 新学期準備	4/10～4/14 新学期準備	4/10～4/14 新学期準備	4/15～4/25 活動を覚えよう	前期始業式 (4/8) 入学式 (4/9) 新入生歓迎会 (4/11)
5	4/28～5/20 運動会に向けて				運動会 (5/17) 中3修学旅行 (5/28～5/30)
6	5/21～6/3 学年生単①	5/21～6/3 学年生単①	5/21～6/3 学年生単①	6/4～6/23 夏市に向けて	授業参観 (6/11～13) 夏市 (6/20)
	6/24～7/8 総合的な学習の時間 (宿泊学習に向けて)				宿泊学習 (全学年) (7/3～7/4) 授業終わりの会 (7/16)
7	7/9～7/15 学年生単②	7/9～7/15 学年生単②	7/9～7/15 学年生単②		
8	7/17～8/26 夏 休 み				授業はじめの会 (8/27)
9	8/28～9/16 学部生活単元学習① (内容未定)				校内・現場実習 (9/18～10/6) 実習激励会 (9/19)
10	9/18～10/6 校内実習／産業現場等における実習				実習報告会 (10/6) 前期終業式 (10/8) 後期始業式 (10/15)
	10/9～10/14 秋 休 み			10/16～11/11 ふよう祭に向けて	ふよう祭 (11/7, 8)
11	11/14～12/5 学部生活単元学習② (駅伝大会に向けて)				駅伝大会 (12/4) (予備日12/11) 授業終わりの会 (12/23)
12	12/22～12/23 学級活動	12/22～12/23 学級活動	12/22～12/23 学級活動	12/8～12/18 冬市に向けて①	
1	12/24～1/6 冬 休 み			1/8～1/23 冬市に向けて②・作業納会	授業はじめの会 (1/7) 冬市 (1/21) 作業納会 (1/23)
2	1/26～2/18 学部生活単元学習③ (内容未定)				公開研究会 (2/13) 面談週間 (2/20～27)
3	2/19～3/10 学部生活単元学習④ (卒業・祝う会に向けて)				卒業を祝う会 (3/9) 卒業式 (3/11) 修了式・離任式 (3/24)
	3/12～3/19 学年生単③	3/12～3/19 学年生単③			

※作業班の単元テーマは、年度当初の予定（仮）である。

10. 高等部の生活

自身の個性を生かし、仲間とともに健康で充実した学校生活を送りながら、卒業後、自分らしく自立的に生活する力をもった生徒を育てることができるよう、以下の点に重点を置く。

- ・自分の考えや意見をもって、一人一人が主体的に学校生活に参加できるようにする。
- ・心身の健康の保持増進に努め、安全・衛生を含む習慣や態度を身に付けられるようにする。
- ・産業現場等における実習などを経て、卒業後の生活を意識した経験をし、必要な知識、技能、態度を身に付けられるようにする。
- ・社会の一員として生活できるよう、集団生活でのルールを守ると共に、自分の役割を理解し、果たせるようにする。
- ・卒業後のより良い生活につなげられるよう、自分のことは自分で行う習慣や、将来について考える態度を身に付けられるようにする。
- ・家庭や関係諸機関との情報交換を丁寧に行うとともに、生徒の意思を尊重した進路決定ができるようにする。

(1) 学級編制と生徒数 (2) 週日課表

学級	男	女	計
1年	6	2	8
2年	4	3	7
3年	6	2	8
合計	16	7	23

曜 時	月	火	水	木	金
9:00	登 校 ・ 着 替 え				
9:10	個 別 課 題 学 習 ・ S H R				
9:30	全校朝会 月2回	朝の運動（保健体育）			
10:00	移 動 ・ 着 替 え				
10:15	作業学習/生活単元学習/総合的な探究の時間				
12:00	給 食 ・ 昼 休 み				
13:00	児童 生徒会 月2回	職業／家庭		保健体育	社会生活・ 暮らし
		※1 作業学習・生活単元学習・総合的な探究の時間			
13:50	※2		着替え・SHR	※2	
14:00	チャレンジタイム		14:00 下校	チャレンジタイム	
14:20	清 掃			清 掃	
14:30	着 替 え			着 替 え	
	S H R			S H R	
15:00	下 校			下 校	

※1 行事前後の時期など単元に応じて適宜実施。

※2 個別課題学習・自立活動を主に行う。

(3) 一日の生活の流れ

① 登校・着替え（～9:00）

連絡帳や提出物を出すなど自分の荷物を整理し、身支度を整える。

② 個別課題学習・SHR（9:00～9:30）

生徒の実態に応じた様々な学習課題やクラスの係活動に取り組む。SHR（朝の会）では、出欠の確認や健康観察、日程の確認を行う中で、任された役割に応じた活動に取り組む。

③ 全校朝会（毎月2回程度 月曜日 9:30～10:15）

内容は、小学部の項に同じ（p9 参照）。

高等部は、同じ「なかよし学級」の他学部児童生徒に声かけを行う。

④ 朝の運動（月～金曜日 9:30～10:15 ※全校朝会のある月曜日は実施しない）

内容は、中学部の項に同じ（p12 参照）。

⑤ 作業学習（主に 10:15～12:00 ※販売会前などは午後にも行う場合がある）

高等部の教育課程における中心の活動。農耕班、木工芸班の作業班に分かれ、学年・学級を越え、縦割りで編成する。生徒の希望や特性、作業班の特徴などを考慮し所属を決定する。

作業班それぞれに主要な生産物・製品を定め、年間、ほぼ恒常的に取り組んでいる。生徒が目標や見通しをもち、主体的に取り組めるよう、時期ごとにテーマを設定し、活動にまとまりや節目をつけて展開するようにしている。

どの作業班も、完成度の高い製品やより良い生産物を作ることに努めている。また、製作・栽培活動を中心に、原材料の注文や購入、販売活動にも積極的に取り組み、一連の流れを生徒が主体となって運営できるようにしている。

農耕班 学校敷地内外の畑にて、無農薬でジャガイモ、ダイコン、ホウレンソウ、サツマイモ、サトイモ、タマネギ、ニンニク、ソラマメ、ダイズなどを季節ごとに栽培している。また、室内でのポップコーンの実もぎやパック詰め、切り干し大根の食品加工にも取り組んでいる。栽培する作物や畑の管理について調べ学習などを通じ、理解を深めながら協力し合い、取り組んでいる。

木工芸班 革や機織り機で織った布を用いてポーチ、コインケース、トートバッグ、キーホルダー等を作ったり、木材で箸、小物入れ、コースター等を作ったりしている。また、それぞれの素材を合わせた製品作りも行っている。様々な道具を用いたり、補助具を介したりして、任された工程に取り組んでいる。また、力を合わせてより良い製品作りを行い、協働性を高めながら取り組んでいる。

⑥ 生活単元学習（行事と関連付けして実施。10:15～12:00 または必要に応じ午後にも行う）

運動会、スポーツ大会への取り組みの中で集団としての力を高め、協力し合いながら一つの目標に向かって活動に取り組んでいる。必要な制作物に取り組む美術的な活動や、レクリエーションや発表活動などに絡めた音楽的な活動などにも取り組みながら、生徒同士で話し合ったり、必要なことを考えたりし、集団の中で個々の成長も考慮できるよう努めている。また、1、2年生は「送別会」、3年生は「卒業に向けて」それぞれの学級で取り組む。

⑦ 総合的な探究の時間（時期や必要に応じて実施）

宿泊、修学旅行に向けた活動、キャリアパスポート作成に関する活動、地域や大学との交流、時事に関する活動など、テーマを設定し課題解決型の活動や探究的な活動に取り組む。

⑧ **給食準備・給食・昼休み** (12:00～13:00)

運搬・配膳等を協力して行い、各学級に配膳した後、学級ごとに給食を食べる。

⑨ **児童生徒会** (毎月 2 回程度 月曜日 13:00～13:50)

内容は、中学部の項と同じ (p12 参照)

⑩ **保健体育**

ボッチャ、ポートボール、T ボール、モルック、フライングディスク、フロアホッケー等、豊かなスポーツライフの実現につながるよう様々な競技や種目に取り組んでいる。また、ストレッチやタオル体操などの基本的な体の使い方や動かし方を学ぶ活動に取り組んでいる。性指導や感染予防や歯科指導などの保健学習も行う。

⑪ **職業／家庭**

「産業現場等における実習」に向けた学習に加え、働くことの意義や役割を理解することに重点を置き、賃金とその使い道、日常生活で使う道具・器具の使用、掃除、調理実習など、将来の自立的な生活に必要な活動に、進路希望などに応じた三つのグループに分かれて取り組む。

⑫ **社会生活・暮らし** (年間 12～15 回程度)

卒業後の生活を見据え、望ましい人との関わり方、SDGs、情報教育、ICT 教育、主権者教育、余暇生活の在り方等について学習を行う。

⑬ **チャレンジタイム** (月～金曜日 13:50～14:20)

主として、生徒の実態や課題、ニーズに応じ、個別課題を中心とした自立活動や読み書き、計算などの学習を行う。また、期間により、学級集団での学習を行ったり、実習日誌の作成を行ったりと、必要に応じた生徒個々の取り組みも行う。

⑭ **清掃・着替え・SHR** (14:20～15:00)

各教室、集会室、トイレなど担当場所の清掃を行う。清掃の終わった生徒は、下校に向けて着替え・荷物整理等を行う。SHR (帰りの会) では、一日の振り返り、翌日の日程確認等を学級で行う中で、任された役割に応じた活動に取り組む。

⑮ **道徳** (教育活動全般をとおして取り組む)

生徒の実態に応じて、他者とよりよく生きるための道徳性を身につけられるようにルールやマナー、伝統や文化等について学び、家庭と連携しながら道徳性を育む。

(4) **学級活動等**

学校行事や学部行事に向け、各行事に合わせて全学部縦割りグループや学級、学部全体などで取り組む。

(5) **産業現場等における実習**

実習の場を、企業や福祉事業所などに設定し、卒業後の働く生活を目指し、より実践的な働く力を身に付けることを主たる目的とする。

- ・原則として、実習先事業所の勤務条件に合わせて実習を行う。
- ・原則として、第 1 期、第 2 期ともに一人 1 事業所とし、担任は巡回訪問する。
- ・期間
5 月下旬～ 6 月上旬 2 週間 2・3 年生 (1 年生は校内実習)
9 月下旬～10 月上旬 2 週間 全学年

実習希望事業所の都合で、受け入れが上記期間以外になることがある。

高等部 3 学年については、必要とされる生徒に限って第 2 期実習以降、随時実施。

(6) 一年間の学校生活

学 校 生 活 の テ ー マ				
月	作 業 学 習		学級活動等	行事等
	農耕班	木工芸班		
4	(3/24～4/7 春季休業)		4/28～5/20 運動会	前期始業式 (4/8) 入学式 (4/9) 新入生歓迎会 (4/14)
5	4/16～5/15 「新体制で臨む作業学習」			運動会 (5/17)
6	5/26～6/6 1年生：校内実習 2.3年生：第1期産業現場等における実習		6/30～9/12 スポーツ大会に 向けて	第1期実習激励会 (5/23)
7	6/11～7/14 「キャンパス市に向けた単元」			第1期実習報告会 (6/10) 授業参観 (6/11～13) 高等部進路面談 (6/17～20)
8	(7/17～8/26 夏季休業)			販売会 (7/11) 授業終わりの会 (7/16) 引き渡し訓練 (7/16)
9				授業はじめの会 (8/27)
10	9/22～10/3 第2期産業現場等における実習		12/8～1/8 宿泊学習に向けて (1年) 修学旅行に向けて (2年) 卒業遠足に向けて (3年)	スポーツ大会 (9/12予定)
11	(10/9～10/14 秋季休業)			第2期実習激励会 (9/18) 第2期実習報告会 (10/7) 前期終業式 (10/8) 後期始業式 (10/15)
12	10/16～11/11 「ふよう市に向けた単元」			ふよう祭：ふよう市 (11/7, 8)
	11/13～12/11 「生徒が主体となって活動の質を高めあう単元」			駅伝大会 (12/6) 1年宿泊学習 (12/16～17) 2年修学旅行 (12/17～19) 授業終わりの会 (12/23)
1	(12/24～1/6 冬季休業)		3/2～3/10 3年:卒業に向けて 1・2年:送別会に向けて	宿泊・修学旅行・卒業遠足計画 授業はじめの会 (1/7) 宿泊等報告会 (1/8) 公開研究会 (2/13) ものづくり市 (2/20) 作業納会 (2/25) 面談週間 (2/20～27) 卒業遠足 (3月上旬) 高等部送別会 (3/10) 卒業式 (3/11) 修了式・離任式 (3/24)
2	1/9～2/24 「ものづくり市に向けた単元」			
3	3/13～3/17 「次年度に向けての作業班体験」			

※作業班の単元テーマは、年度当初に決定

11. 進路指導・移行支援年間計画

年度当初の予定 卒後支援は、訪問、電話連絡等を随時行う。

*以下、表中の「○」は、対象者を示します。産業現場等における実習は、「現場実習」と記載します。

月	日・曜	内 容	小学部	中学部			高等部			卒後
				1 年	2 年	3 年	1 年	2 年	3 年	
4	3 (木)	卒後支援① (電話〈新卒生〉)								○
	上旬	関係機関挨拶								
	25 (水)	進路アンケート配付					○	○	○	○
	下旬	卒後支援② (電話〈2～3年目〉)								
5	23 (金)	進路保護者会① 実習に向けて	○	○	○	○	○	○	○	
		実習激励会	○	○	○	○	○	○	○	
	26 (月)～ 6/6 (金)	高等部1年校内実習 高等部2・3年 第Ⅰ期現場実習					○	○	○	
	26 (月)～ 6/6 (金)	高等部第Ⅰ期現場実習 巡回指導					○	○	○	
	中旬	卒後支援③ (訪問) 職場開拓								○
	10 (水)	高等部 実習報告会	○	○	○	○	○	○	○	
6	17 (火)～ 20 (金)	高等部 進路面談					○	○	○	
	16 (月) 17 (火)	小 学校見学会								
	18 (水)	中 学校見学会	○							
	19 (木)	高 学校見学会				○				
7	下旬～	職業相談・登録 (ハローワーク主催)							○	
	夏期休業中	事業所見学会 卒後支援④ (電話)				○	○	○	○	○
8	27 (水)	進路・移行支援委員会								
9	3 (水)	進路決定にむけての授業参観	小6			○				
	18 (木) 19 (金)	高等部 実習激励会 中学部 実習激励会	○	○	○	○	○	○	○	
10	9/22 (月) ～10/3 (金)	高等部第Ⅱ期現場実習 (～6日) 中学部 現場実習 (～6日)		○	○	○	○	○	○	
	～10/3 (金)	卒後支援⑤ (電話・訪問)								○
	6 (月) 7 (火)	中学部実習報告会 高等部実習報告会 進路保護者会②	○	○	○	○	○	○	○	
2	上旬	高3 進路手続き	○	○	○	○				
	20 (月)～ 27 (金)	高等部 進路面談 高3 個別の移行支援会議					○	○	○	

12. 卒業・修了生の進路

(1) 卒業・修了時の進路

高等部の数は途中修了生を含む

卒業年度	部	小 学 部			中 学 部							高等部						
	性別	男	女	計	男	女	計	卒業時の進路				男	女	計	卒業時の進路			途中修了 内数
								就	高	施	他				就	施	他	
昭48～49		6	8	14	14	15	29	17	8	1	3							
50		2	4	6	5	3	8	4	4	・	・							
51		4	2	6	4	4	8	4	4	・	・	1	5	6	3	2	1	・
52		1	3	4	2	3	5	2	3	・	・	3	3	6	4	1	1	・
53		1	2	3	4	4	8	2	3	・	・	4	2	6	4	2	・	・
54		2	2	4	6	3	9	5	3	・	1	2	3	5	4	1	・	・
55		3	2	5	3	5	8	3	5	・	・	4	2	6	4	2	・	・
56		1	1	2	4	2	6	3	3	・	・	7	4	11	8	3	・	・
57		2	1	3	4	2	6	2	4	・	・	4	4	8	3	4	1	・
58		1	1	2	4	2	6	2	4	・	・	4	6	10	9	1	・	・
59		3	・	3	5	3	8	3	5	・	・	10	3	13	11	2	・	2
60		1	2	3	4	3	7	・	7	・	・	4	3	7	7	・	・	・
61		1	・	2	5	2	7	2	4	1	・	9	1	10	9	1	・	1
62		2	2	4	5	2	7	1	6	・	・	8	3	11	7	4	・	2
63		2	1	3	4	3	7	1	6	・	・	5	4	9	6	1	2	・
平成元年		1	2	3	5	1	6	2	4	・	・	5	3	8	7	1	・	2
2		2	・	2	5	3	8	・	8	・	・	7	4	11	9	2	・	2
3		3	・	3	5	2	7	1	5	1	・	5	5	10	4	6	・	・
4		3	1	4	4	4	8	3	4	1	・	7	4	11	8	3	・	3
5		3	・	3	6	1	7	1	6	・	・	7	3	10	4	3	3	2
6		1	2	3	5	2	7	1	6	・	・	7	3	10	4	5	1	2
7		2	・	2	4	2	6	1	5	・	・	5	4	9	6	3	・	1
8		1	2	3	7	1	8	・	8	・	・	14	2	16	10	6	・	5
9		・	2	2	2	4	6	・	6	・	・	8	4	12	6	6	・	1
10		2	2	4	5	1	6	・	6	1	・	8	3	11	5	6	・	1
11		3	・	3	3	5	8	・	7	1	・	13	3	16	6	10	・	2
12		4	・	4	5	3	8	・	8	・	・	7	5	12	6	3	3	2
13		1	1	2	4	3	7	1	7	・	・	7	4	11	4	6	1	1
14		3	1	4	7	・	7	1	6	・	・	4	6	10	4	6	・	1
15		1	・	1	8	1	9	・	9	・	・	13	4	17	11	6	・	4
16		1	2	3	3	2	5	・	5	・	・	6	6	12	7	5	・	1
17		4	・	4	7	3	10	・	10	・	・	8	・	8	6	2	・	1
18		4	・	4	2	1	3	・	3	・	・	12	2	14	7	7	・	1
19		1	・	1	3	2	5	・	5	・	・	10	3	13	8	5	・	2
20		1	3	4	6	1	7	・	7	・	・	10	3	13	4	9	・	2
21		1	1	2	5	2	7	・	6	・	1	4	3	7	2	5	・	・
22		3	・	3	6	・	6	・	6	・	・	8	4	12	8	4	・	1
23		3	・	3	4	1	5	・	5	・	・	9	1	10	4	6	・	・
24		2	・	2	6	2	8	・	8	・	・	9	2	11	3	7	1	・
25		3	・	3	4	1	5	・	5	・	・	10	2	12	4	8	・	・
26		3	・	3	6	2	8	・	8	・	・	6	5	11	3	8	・	・
27		2	・	2	6	・	6	・	6	・	・	7	3	10	5	5	・	・
28		1	2	3	6	・	6	・	6	・	・	6	2	8	2	6	・	・
29		1	・	1	5	1	6	・	6	・	・	6	3	9	3	6	・	・
30		1	1	2	3	・	3	・	3	・	・	8	・	8	4	4	・	・
令和元年		1	1	2	2	3	5	・	4	・	1	6	3	9	・	9	・	・
2		2	1	3	4	・	4	・	3	・	1	6	2	8	1	7	・	・
3		2	1	3	2	2	4	・	4	・	・	5	・	5	1	3	・	1
4		3	・	3	4	2	6	・	6	・	・	4	3	7	1	6	・	・
5		2	1	3	3	3	6	・	6	・	・	7	1	8	1	7	・	・
6		3	・	3	4	2	6	・	6	・	・	7	2	9	・	9	・	・
合計		107	58	165	239	119	358	62	282	6	7	336	150	486	247	224	14	43

※就→就職 高→高等部 施→通所施設等 他→家業・家事

(2) 就職後の動向

年 度	中 学 部							高 等 部						
	卒業時	現 在	増 減	離 職 先				卒業時	現 在	増 減	離 職 先			
				家 庭	作業所	施 設					家 庭	通所施設等	他	
令和4	0	0	±0	・	・	・		0	0	±0	・	・	・	
5	0	0	±0	・	・	・		1	1	±0	・	・	・	
6	0	0	±0	・	・	・		0	1	+1	・	・	・	

13. 卒業生への対応

卒業生への対応として、卒業前に全員を対象とした移行支援会議を開き、スムーズな移行支援ができるように努めている。卒業後は様々な問題に対応するため、進路・移行支援委員会を設けて活動しているほか、夏期休業中には全職員で卒業後3年までの卒業生を対象に卒後支援を実施している。

① 移行支援会議（学校・保護者・進路先・行政・相談支援機関などが参加）

- ・全卒業生を対象に実施してスムーズな移行を目指す。
- ・移行支援計画を元にして情報の共有や意見の交換を行う。

② 進路・移行支援委員会

- ・卒業生の様々な相談等に応じる。
- ・関係各機関と連絡、調整を行う。

③ 卒後支援（定期）

	4 月	第 1 期（前期）産業現場等における実習期間	第 2 期（後期）産業現場等における実習期間
卒後 1 年目	訪問による卒後支援	訪問による卒後支援	訪問による卒後支援
卒後 2 年目	電話による卒後支援	電話による卒後支援	電話による卒後支援
卒後 3 年目	電話による卒後支援	電話による卒後支援	電話による卒後支援
担当	進路指導・移行支援部	進路指導・移行支援部	進路指導・移行支援部

* 随時、必要に応じて訪問による卒後支援を実施している。

14. 児童生徒の入学募集等

(1) 募集人員（定員）

- 小学部第1学年 3名
- 中学部第1学年 6名
- 高等部第1学年 8名

定員を超えて、入学者を受入れることがある。

年度によって、他の学年についても若干名募集することがある。

(2) 応募資格

- ① 知的発達に障害のある幼児児童生徒で、特別支援教育が適当と判断される者。
- ② 保護者と居住し、家庭から通学できる者。

(3) 募集時期

小学部、中学部、高等部とも後期 11 月（予定）。応募書類の配布、応募書類の受け付け、入学調査などの日程については、6 月に公示し、9 月末に志願者説明会を実施する。

(4) 入学者選考

毎年 11 月下旬に行っている。遊び、運動、作業の様子や行動観察などによる調査を実施し、入学候補者を決定する。

(5) 入学・教育相談

入学も含めた教育相談については、年間を通じて常時受け付けている。事前に電話等で相談日を決めて行う。必要に応じて体験入学（半日）も実施している。

(6) 学校見学会 I 期・II 期

本人、保護者、教育関係者を対象に学校見学会を 6 月・8 月に実施し、学校概要の説明や学校全体、各学部の様子を見学する機会を設けている。

(7) 体験入学

知的発達に障害のある近隣の幼児・小学生を対象に、本校の活動を体験する機会を設けている。

15. 学校運営組織

(1)教 職 員 等

校 長	
副 校 長	
教 諭	
教 諭	
教 諭	
教 諭	
特任専門職員	
教 諭	
教 諭	
非常勤講師	
教 諭	
教 諭	
非常勤講師	
非常勤講師	
非常勤講師	
教 諭	
教 諭	
教 諭	
教 諭	
教 諭	
教 諭	
特任専門職員	
教 諭	
教 諭	
教 諭	
教 諭	
非常勤講師	
非常勤講師	

教 諭	
教 諭	
教 諭	
実 習 助 手	
教 諭	
教 諭	
養 護 教 諭	
係 長	
主 任	
事務系職員	
栄 養 士	
調 理 師	
技能系補佐員	
技能系補佐員	
技能系補佐員	
用 務 員	
スクールカウンセラー	
ス ク ー ル	
ソーシャルワーカー	
ICT 支援員	

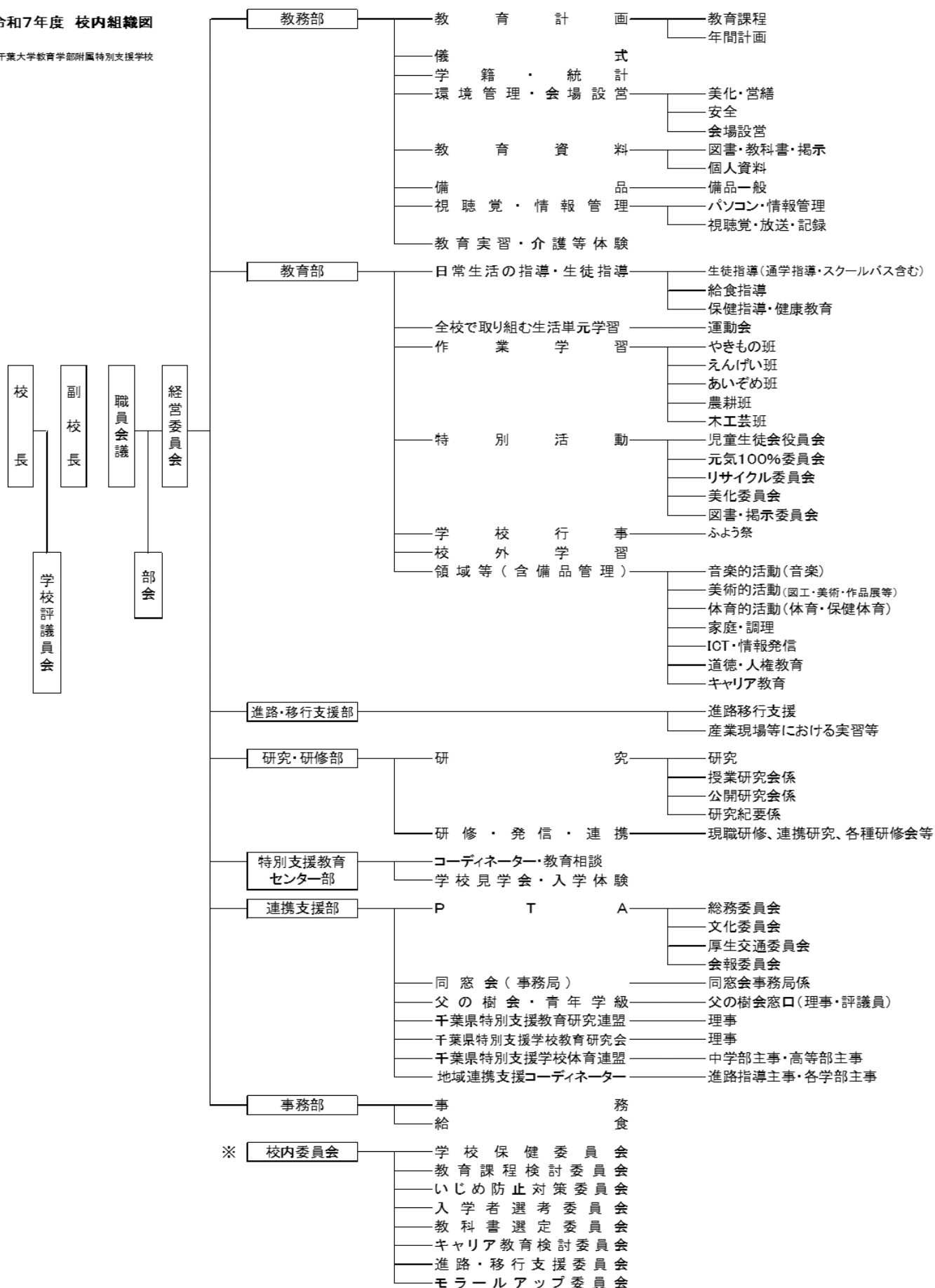
学校医

内 科	
歯 科	
眼 科	
耳 鼻 科	
精 神 科	
整 形 外 科	
学校薬剤師	

(2) 校務分担

令和7年度 校内組織図

千葉大学教育学部附属特別支援学校

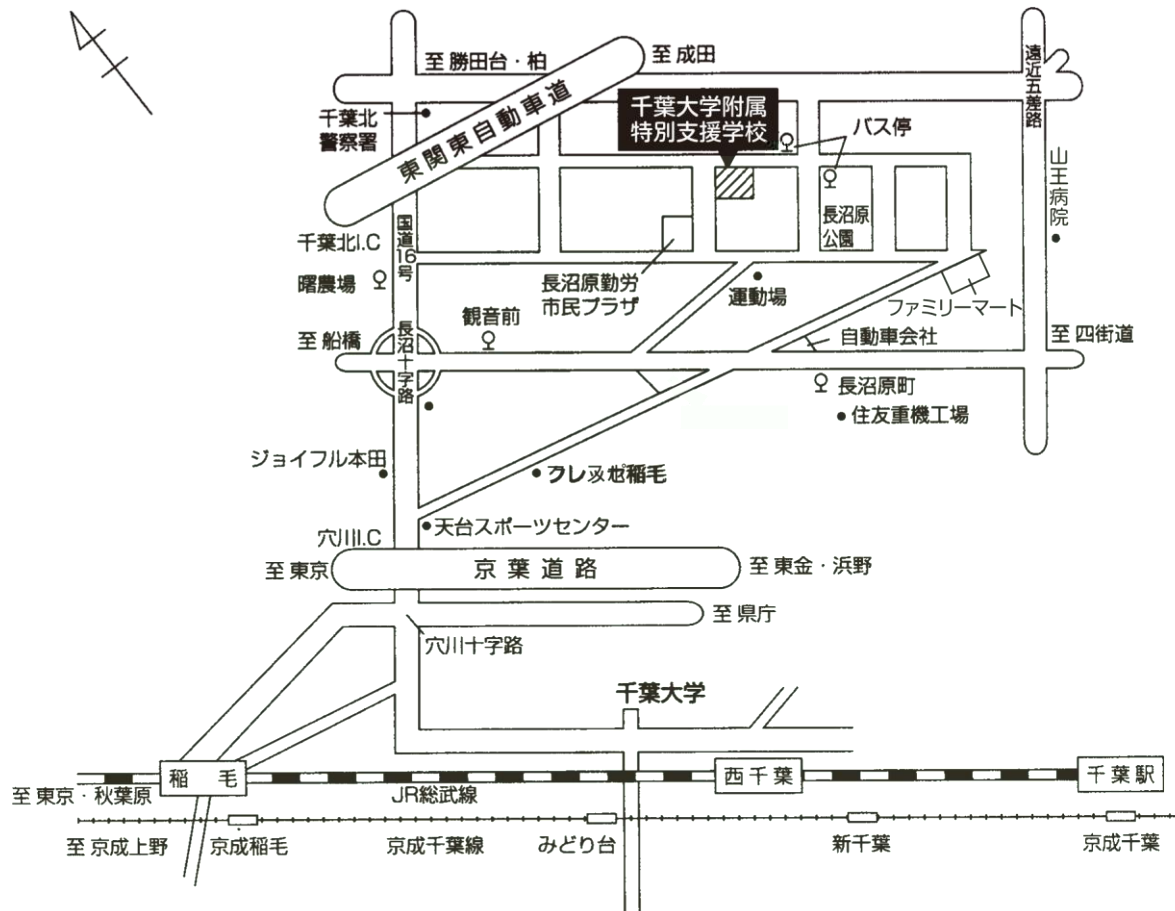


16. 学校周辺案内図

所在地 千葉市稲毛区長沼原町312番地

電 話 043 (258) 1111(代)

F A X 043 (258) 9303



交通機関

- J R 稲毛駅下車 京成バス 稲毛区役所経由 山王町行
(快速停車) 長沼原公園下車 徒歩 3 分
- J R 四街道駅下車 千葉内陸バス 草野車庫行
長沼原町又は観音前下車 徒歩 15 分
- 京成・東葉高速
勝田台駅下車 千葉内陸バス スポーツセンター行
曙農場前下車 徒歩 15 分

千葉大学教育学部附属特別支援学校 校舎配置図

